

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

大幅賃上げは切実な課題

動労千葉・動労総連合 JR東・貨物・CTSへ新賃金申し入れ

新賃金要求

【JR東・貨物共通】

- 2025年4月1日以降の基準内賃金を6万円の原資をもって引き上げること。
(生活向上分4万円、物価上昇分2万円)
- ※JR東：エルダー組合員及びグリーンスタッフの基本賃金を、社員と同様に引き上げること。
- 配分に関して基本給を重点に行うこと。

【CTS新賃金要求】

- 2025年4月1日以降の基準内賃金を5万円の原資をもって引き上げること。
- 契約社員・パート社員については、ただちに時給を一律1500円に引き上げること。

約8割が「生活費不足」

動労千葉・動労総連合は、25年4月1日以降の新賃金及び労働条件改善に関する申し入れを2月21日にJR東、貨物に対して、25日にCTSに対して行いました。また、JR東に対して夏季手当についての申し入れ(3・7ヶ月分+10万円を要求)を行いました。

賃金に関するアンケートでは、大幅賃上げ待ったなしの切実な状況が明らかになっていす。とくにCTSで働く労働者では、回答者の約78%が生活費が「ときどき不足」「いつも不足」と回答しています。

不足する生活費の補填は「生活費を切り詰める」「期末手当で補填」「家族からの援助」という回答が多数です。生活費をギリギリまで切り詰めて期末手当で何とか穴埋めするという現状が浮き彫りになっています。

「大変生活が厳しい」「物価上昇が止まらず、負担が増えるばかり」「同世代平均年収よりはるかに下」「コストカットを受け入れるばかりでは未来はない」「賃金は上がりませんが、要員は減らします、経費削減では無策すぎる」「実賃賃金がただ下がりて怒りしかわかない」

アンケートは怒りと切実な声、大幅賃上げや手当の増額、ベースアップを求める声であふれています。

下請法違反の買いたたき

JR東がCTSをはじめグループ会社にやっていることは下請法違反の「買いたたき」そのものです。問題化しないのは、CTSの幹部がすべてJRからの出向者と天下りだからです。JRとCTSの天下り幹部が結託して、現場に矛盾と負担をしわ寄せする構造を作っています。とても許すことはできません。

JRグループ会社を貫いて、この構造をぶっ飛ばす怒りの声と闘い、闘う労働組合が必要です。大幅賃上げ獲得へ、すべての職場から声をあげましょう。